



## 学校運営協議会 拡大企画推進委員会

平成29年6月30日  
松ヶ崎小学校学校運営協議会  
広報委員会

6月25日（日：午後2時30分～）、学校運営協議会拡大企画推進委員会をおこないました。全体会の後、各分科会に分かれて、今年度の活動について話し合いました。各委員会の話し合いの一部を紹介します。

### 学び企画推進委員会

子どもの学習に関わる活動（教科学習・総合的な学習の時間・学校行事・小大連携・課外学習・クラブ活動・部活動・外国語活動・ICT・昔の遊び・園芸活動など）を支援していただくコミュニティティーチャー（ゲストティーチャー）の企画について考えていきます。

- ・地域として包括的に学校の支援をしていく。学校からの支援についての相談やお願いにより地域の人脈活用となり、豊かな体験活動につながる。
- ・教職員が地域行事へ参加することにより、コミュニケーションの機会も増え相談や連携がしやすくなる。
- 「総合的な学習の時間」への支援
  - ・学校として「総合的な学習の時間」の積み上げを整理して残していくと、地域連携がしやすい。
  - ・1, 2年生は生活科。3, 4, 5, 6年生は総合的な学習の時間。
  - ・田が減ってきている。総合的な学習の時間に、いつまでも農業のことではできないかもしれない。でも、伝統文化や歴史については続けていくことができる。山もあるので、自然学習もできる。
  - ・PTAも1年交代なので、地域のことかわかった頃に任期が終わってしまう。
  - ・iPad活用して、子どもたちの興味・関心を高めたり理解を深めたりすることもできる。
  - ・松ヶ崎の生き物の話をしたり世話をしたりと、体験活動の中で学習を支援したこともある。
  - ・学習を進めるうえで必要な資料について、地域で探したり準備したりできるものもある。
- 外国語活動について
  - ・ALTは年に10回程度来校。ネイティブな発音を聴いたり外国の文化に興味をもったり、コミュニケーションへの関心を高めたりするうえでは効果がある。
  - ・放課後まなび教室にも、ALTに来てもらって本の読み聞かせをしてもらうこともある。



### 子ども安全企画推進委員会

「子どもの安全から地域の安全へ」がキーワードです。「松ヶ崎あんしんネットワーク」を中心として、子どもの安全と安心・安全のまちづくりを考えます。

- 見守り活動
  - ・年々保護者の方の参加が減少しているが、地域の方に助けていただき感謝している。
  - ・見守りジャンパーを着用して見守っていただいた方がわかりやすくてよい。
  - ・仕事や急用、子どもの送り迎えなどで、予定通りにいかないときもあるが、できる範囲・時間の中で立っている。予定の日に行けなかったときは、別の日に自主的に入ってもらうなどしている。
  - ・下校時の校門前の見守りは実現できないか。下校時刻もまちまちなので実情は難しい。
  - ・外出の際や下校時刻に合わせて外に出るなどして見守っていただいている。
  - ・サポートしてもらえる店、家を広げていく。PTAから自治連合会へ、要請をしてもよいのでは。
- 校区内の安全について
  - ・建設中の橋ができたらかどのような状態になるかを予想し、できる前に交通対策の要望を出していくことが大切。（信号や歩道など）
  - ・区役所の門をあけて通れるようにしてほしいとの要望があるが、交通量や流れの変化に対して心配なことがあるので、現状通りを希望。
- 交通マナーとして
  - ・自転車の交通ルール（左側通行）が守れていない。
  - ・道をよけてもらったら、大人も「ありがとう」を言うように気を付ける。
- 児童への声かけ
  - ・何かあれば、「110番の家」でなくても、大人のいる場所（守衛・店など）に助けを求めることを教えておく。児童にも、「何かあったら自分たちで周りの大人に助けを求めていくように」と話している。
  - ・3つの「あ」・・・「あいさつ」「安全」「ありがとう」を進んでするように繰り返し指導する。



## 読書企画推進委員

子どもの読書活動を支援します。「読み聞かせ」や本の紹介、図書室を活用した取組など読書活動を企画推進していきます。図書室の環境整備も行います。

### ○昨年度までの活動の様子

- ◇学校から：学校司書が、低学年への読み聞かせ、国語の学習内容に関するブックトーク、学習に必要な本をそろえる等を行い、よい勉強になっている。選書会は実施していない。教科で使う本を充実させることを優先。
- ◇推進委員より：読み聞かせの取組はすぐに結果が出るようなものではないが、今、種まきをすることで、これからつながっていかねばと考えている。新規メンバーは3名。6年生へのブックトークにより、それまではほとんど動かなかった本の貸出につながった。なかよしルームでの読み聞かせと本の紹介は、好評であった。

### ○今年度の活動について

- ・本の紹介を、中学年（この時期、読書体験の影響は大きい。）にも行いたい。6年生は卒業前の1回にする。静かな環境で行いたいのので、音楽室を使用することを検討。
- ・現在：地域8名、保護者8名、現役保護者を増やしていきたい。勧誘のプリントを配布。
- ・学級文庫の手入れをPTAと連携して行う。各家庭へ本の寄贈依頼プリントをPTAより配布予定。本の集約、整理は夏休みに行う予定。決まり次第、推進委員へも連絡。

### ○その他

- ・推進委員と学校との連携は、連絡ノートを活用。やり取りが必要な時は、ノートに付箋をつけて、職員室の机上に置いてもらうようにする。
- ・図書室の衛生については、PTAの大掃除ローテーションに入れてもらうよう依頼。窓掃除は職員作業で行う。鳥の掲示物（野鳥の窓への激突防止策）は図書委員会で作り変える予定。
- ・低学年が手にとって読みたい本を、手が届く高さに配架できるよう検討する。



## 広報企画推進委員

「松ヶ崎コミュニティ・ニュース」の発行を行います。学校評価についても協力していきます。

- ・学校だより、コミュニティ・ニュース等、月ごとや年数回発信されている。ホームページも見やすい。重要な内容については、印刷物がよい。発信についての作業分担も考えていく。
- ・広報していくことで、学校・家庭・地域の連携を図る。たとえば、「挨拶」について、学校も家庭も地域も同じように意識して取り組むほうが効果的になる。地域とつながる活動や学習の紹介により、協力体制が強くなる。
- ・学校評価アンケートは、定量的な評価と自由記述となっている。改善策を講じて発信をする。
- ・アンケート項目に挙がっていることを学校や家庭が再認識して、取り組む機会にしていきたい。



## 放課後まなび教室企画推進委員会

平成20年後期より発足。自学自習の学びの場として運営しています。よりよい学びの場を提供できるようにスタッフ一同がんばります。

### ○昨年度～現在の様子

- ・低学年は、4時30分まで。高学年は、5時30分（冬4時30分）まで。マストタイム（宿題をする時間）とキラキラチャレンジタイム（学習プリント等自主的に内容を決めて進める時間）として進めている。
- ・年に1～2回、イベントをしている。（百人一首大会、切り紙作品作り）
- ・スタッフは、毎時間、3人。
- ・お家の方は参加にしているのに子どもが学校で友だちと遊ぶ等の約束をしてしまうことや忘れてしまうなどで、無断欠席が、この1年で増えてきている。担任が、児童のまなび教室へ行くことの把握をしておくことや確実にに行けるように声かけをすると無断欠席の減少や欠席時のルールの遵守につながる。

### ○今後の活動について

- ・今年度のイベントは、冬休み明けに「百人一首大会」を行う予定。どのような形で行うかは夏休みに話し合う。
- ・登録児童が現時点で60名を超えており、後期から1年生も参加するため、場所やスタッフが足りるように考えていく。
- ・まなびでの児童の様子で気になることがあれば、担任に伝えるなどして、情報の共有や連携をしていくことが大切である。



お忙しい中、参加していただきました理事の皆様、委員の皆様ありがとうございました。

いただいたご意見をもとに取組を進めていきます。

今年もたくさんのお力添えをいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。